

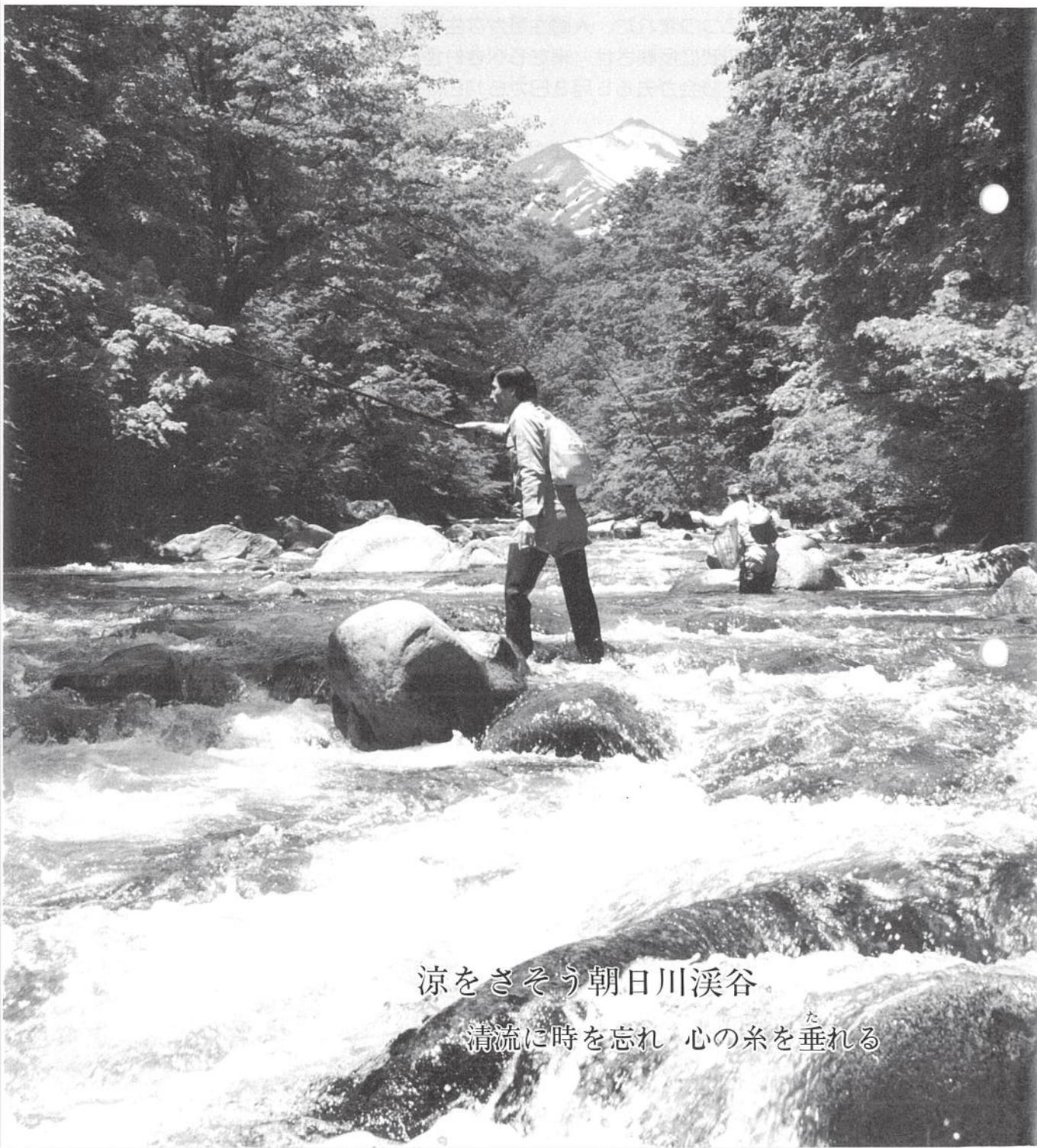
広報

# のあさひ

No. 363

'87

7/15



涼をさそう朝日川溪谷

清流に時を忘れ 心の糸を垂<sup>た</sup>れる

# 紀へ届けようみんなの声を

## 延べ1,169人がひざを交えて語り合った 町政座談会

「美しい自然につつまれた、人間性豊かな生きがいのある町」の実現のため、町民の生の声を町政に反映させ、来たるべき21世紀へ向けた町づくりを進めようと、今年も町政座談会が去る5月8日から10日間にわたって、47の会場で開かれました。

参加者は、延べ1,169人。各会場では町政への質疑や提言など、皆さんから多くの意見が出され、活発な話し合いの場面が見られました。

今月は、これらの中から主なものをご紹介します、町づくりの課題をみんなで考えてみたいと思います。

### 旅行村

## 理解が深まってきた 家族旅行村

家族旅行村を白倉につくるようになった理由は、

(大沼・高田・大谷五)

【応答】既設の白倉スキー場では、シーズン期間中約二万人の利用客がありますが、もっと魅力あるゲレンデの整備をすすめたいと考え、国の補助事業を活用した中期模範観光レクリエーション基地事業(家族旅行村事業)に取り組んだものです。

最近では余暇時間の増大にもなっており、それを有効に活用するためのレジャーや保養に費やす傾向が出ています。また人々の「ふるさと」や「自然」への志向が年々高まっています。これらに対応するため「ふるさと」を印象づけるにふさわしい朝日連峰のふもと白倉地区を、観光の拠点として町の魅力づくりをすすめることになったのです。

さらに、現在は企業の誘致が難しい状況にあり、新

たな地場産業をつくり出すためにも、観光などで町を訪れる「流動人口」の誘客・確保をすすめ、それらによる町の活性化・経済の波及効果をねらって、滞在型の観光施設としての家族旅行村事業に着手したものです。

家族旅行村で働く従業員の数は、また、どのような施設で、どのくらいのお客を予定しているのか。(雪谷・立木・下芦沢・大谷二・能中)

【応答】家族旅行村は、スキー場を拡張した冬場の利用と、キャンプや貸し別荘のコテージを中心とした夏場の利用を考え、通年観光をめざしています。

まだ具体的な雇用人数は出ていませんが、年間二万人の利用客に対応している白倉スキー場では、現在、リフト部門九人、食堂部門十五人の雇用です。今後整備される施設の規模を考え

ますとほぼ倍數ぐらいの雇用が必要と考えています。

利用者は冬場四万人、夏場三万九千人、合わせて七万九千人の利用を見込んでおり、その管理運営の費用は七、八千万円が必要と推定しています。

整備に必要な財源、補助金はどうなっているのか。(白倉・八ッ沼・大谷三)

【応答】整備にかかる全体事業費は十四億五千五百万円です。財源内訳として国庫補助金三億五千万円、県費補助金一億四千万円、地方債八億八千万円、一般財源七千万円となっています。

この地方債(町が借りる資金)のうち七億五千万円が過疎債と言われるもので、これを償還する元金と利子の総額は十一億四千万円となりますが、このうち七〇%が地方交付税に算入なり約八億円が町に入ります。したがって、今後の町費としての持ち出しは、昭和七十八年度までの償還完了まで約六億円となり、単年度

# 21世紀



高田公民館での座談会風景

での最高の持ち出しは、七十年程度の五千二百万円と推計しています。

## 管理運営について なお心配の町民も

——建設に要する町費の持ち出しなどの資金計画は理解できたが、開村後の維持管理がどうなるか心配。

——昨年第三セクターによる運営という説明があったが、(大暮山・真中・四ノ沢)

【応答】確かに、町としても昨年までは第三セクターによる管理運営を考えてきましたが、整備を国の補助事業で行っており、公設公営の原則から第三セクターによる運営が難しくなりました。

——先に、町長の諮問を受けた家族旅行村管理運営等検討委員会では、財団法人による運営についても検討がなされ、一部委員の賛成の声もありましたが、委員会としては「町の公営企業会計による事業運営が望ましい」という答申をまとめたものです。

今後、町はこの答申を尊重するとともにさらに検討し、運営方法を決定していく考えです。

——運営は町の企業会計でやることのようなのだが、もし経営不振となった場合は、結局町で対応するのか。その金はどこで出すのか。(前田沢)

【応答】町で出すことになりましたが、そのようなことにならないように、今年度から家族旅行村対策室を新たに設置し、産業課・建設課などと連携を図りながら、今後の観光ニーズに対応した具体的な施設の整備や運営について検討しています。

## 道路の整備も

### 大きな課題

——白倉までの現在の道路状況では、依然幅員の狭い箇所が多く、その整備をどうすすめていく考えか。

(大谷五・前田沢・下芦沢  
大沼・中沢・送橋・栗木沢)  
【応答】道幅の狭い夏草地内、太郎橋、石田淵のス

ノーセット付近については県道(白滝宮宿線)であり、県では昭和六十三年度から整備する予定です。町としても、さらにその整備促進を働きかけていきます。

——町道白倉線については、開村まで現道を局部改良して、大型バスが通れるように整備をすすめています。

——将来的には、荒沢の方に新たな連絡道路を整備することも考えています。

## 力強い提言も

——一面のコスモス畑をつくり、一つの観光目玉として成功している所もある。このような花木園をつくってはどうか。(西町)

——木と空気は緑の元であり、全国にない「空気が社」をつくっては。(高田)

——他県の「朝日町」や都市部との姉妹・友好都市関係を結び、相互交流をすすめては。(大谷七)

——旅行村のパンフレットをりんご発送の折に入れて、今からきめのこまい地道なPRをしては。(大谷七)



助ノ巻公民館での参加者

### 行政改革

## 出張所の名称を変え 親しみある公民館に

——西部地区と北部地区では、出張所に対する考え方が違う。北部出張所は地区民の心のよりどころになっている。このまま存続すべきである。(大谷七・栗木沢・大谷三・大沼・大谷六)

【応答】施設の立地状況から、西部地区と違う点は理解しています。これまでも出張所は地区公民館と併用し、むしろ実際の仕事内容は公民館の仕事が八割を占め、出張所機能としての事務は戸籍・年金・福祉など、本庁で行う事務の取り継ぎ的な仕事だけになっている状況です。

今後、生涯学習・地域振興活動の地区拠点施設として、公民館をさらに整備・充実していきたい。

——子供を預かる責任職としての、保育園長についてはどう考えているのか。

(真中)

【応答】昨年度策定した行政改革実施計画にもとづいて、職員などの人的見直しもすすめているところですが、園長については、三職(出張所長・公民館長そして保育園長)兼務の現状を改善し、三保育園を統括する専門職の園長を置き、保育機能の整備・充実をさらに進めていきたい考えです。

——西部公民館を健康増進センターのある熊ノ山(旧西五百川中学校跡地)に移転する考えがあるようですが、距離的に非常に不便になり、利用しにくい状況になるのでは。(太郎)

【応答】熊ノ山一帯は、西部地区の振興・発展の拠点と考え、運動施設をはじめ研修機能としての公民館など、一体となった関連施設の整備、拡充をすすめているところですが、ご意見のとおり、もし熊

ノ山に西部公民館の移転をすすめる場合は、はじめ改良計画されていた、常盤中心部からの路線を歩道程度

### 環境整備

## 宮宿地区の課題は下水道 和合地区でも要望

——生活排水の汚染問題も出ており、下水道施設の整備を急ぐ必要があるのでは。(大町・元町・本町)

【応答】生活環境の整備はかかる上で、町にとっても重要な課題であり、さらに調査・検討をすすめて、今年度中に事業年数、事業費の概算など綿密な計画をつくっていきたい。

——町の基本計画には、昭和七十年まで下水道の全町整備と出ており、和合地区でもそれらの対応を考え

整備し、できる限り皆さんの利便性を確保していく必要があります。

### 企業誘致

## 若者の定住を考えた 働く場の確保を

——新たな企業の誘致や働く場の拡大は、以前からあまり進んでいないようだ。町では広域行政の中で寒

河江に工業団地をつくり、町から働きに行ってもらおうという通勤圏の拡大をすすめているが、将来的には



大谷四公民館での参加者

結局、山間部の人たちは働く場のあるところへ転居することが考えられ、過疎が依然として進む。これが町の高齢化にも拍車をかける。

大学や高校を出た自分の子供ら、町の後継者が安心して地域に定着するために、ぜひ町内への誘致も強力にすすめてほしい。

企業誘致のための役場体制も、新たに検討しては。

【応答】(大舟木・助ノ巻) 当面の働く場の確

## 農業振興

### アイディア農業で 新たな時代へ対応

大幅な減反や農産物価格の低落など、農業経営は非常に厳しい。りんごや米に代わる安定した農産物はないだろうか。

(宇津野・松原・助ノ巻)

【応答】難しい問題だ。日本の農業はどうなるのか憂えている。農民だけが頑張っても、必要資材の肥料などが高く、生産物まで高くなってしまふ。国に真剣に指導してもらいたいと

保のためには、以前から話してきたとおり、基幹道路の整備による交通体系の整備を図り、他の市町への通勤拡大を考えています。

長期的にはご意見のとおりですが、現実的には現在の円高、貿易摩擦などの状況の中、非常に厳しいものがあります。幸いにして、アサヒタイル(株)跡地に東根市に本社のあるアイジー工業(株)が来ることになり喜んでるところです。

いつでも具体性に乏しい。一方、これからの農業は大規模か極小規模の農家に分けられるとか、農業だけで生きるには知恵を出していかないと難しいとも言われています。

今後とも生産者・普及所農協・役場など、さらに連携を深め、アイディア農業をめざした研究検討委員会を設置して、積極的に対応していきたい。

減反の割当について

は一律でなく、各地区の地理的条件、適正栽培地、農業後継者などの育成を重点に、充分検討した上で配分できないか。(杉山)

【応答】米をとりまく農業は、国際がらみの複雑な要因があり、難しい問題です。農業水田確立対策の取り

## 道路整備

### 主要地方道山形朝日線 67国体まで全線完成を

主要地方道・山形朝日線の早期完成をお願いしたい。(送橋)

【応答】67国体まで整備してもらおうよう、県に陳情・要望しています。現在、朝日町側は送橋地

組みについては、生産者と農協と町が一体となって推進してきたところ。結果的には各農家一律の配分で、制度のご理解とご協力をお願いしましたが、今後とも知恵を出し合いながら、新たな時代に対応した農業のあり方を探っていきたい考えです。

区内の整備をしており、現道から見えない箇所のため分らないと思いますが、かなり進んでいます。今後とも強力に働きかけていきたい。

このほか、朝日分校(高校)の存続問題、学校改革、後継者対策、高齢者の福祉と生きがい対策などについても、活発に話し合われました。

町では、この座談会で持ち帰った課題や貴重な提言を各區ごとに整理し、住民に身近な問題については再調査や検討を行い、区長さんあてに対応策を回答しています。

二十世紀へ向けての住みよい町づくりのため、さらに町民の皆さんの積極的な提言をお寄せください。

(所管 企画課)

# 長井線存続運動と連携

消すな

たやすな

先祖の  
願い



## 内陸循環鉄道期成同盟会



小林町長の座長で総会がすすめられた

「消すな、たやすな、先祖の願い」を合言葉に、明治四十五年以来、息の長い運動を継続してきた「左荒線」。今年四月一日から国鉄の民営化がスタートして初めての「内陸循環線促進期成同盟会」(会長 小林富蔵朝日町長)の総会が六月二十六日、農業団地センターで開かれました。

同会の構成市町は、山形市・山辺町・中山町・寒河江市・大江町・朝日町・白鷹町・長井市・川西町・南陽市・上山市の、循環線構想の沿線五市六町。

JR東日本鉄道の発足と合わせ、既に廃止対象路線となっていた長井線。これを受けて長井市をはじめとする地元沿線では、先に県と一体となった第三セクターによる運営方針を正式決定しています。

総会では、こうした状況をふまえ、同盟会の名称を「内陸循環鉄道(左荒線)促進期成同盟会」と変更し、次の運動方針を協議、決定しました。

### ①組織の強化

## 西五百川小

# グラウンド整備

## 急ピッチ

### 自衛隊による造成作業

自衛隊員の手による西五百川小学校グラウンド造成作業の、起工式が去る六月十七日に行なわれ、いま急ピッチで作業が進められています。

この作業は、本格的な造成工事を前に、同校舎の裏山イシウ地区の土石六万立方メートルを排除・運搬するもの。作業にあたっては、東根市神町にある陸上自衛隊第六師団に町が協力を要請。それを受けて第六施設大隊朝日作業隊(阿部一正隊長)の隊員三十二名が、青少年育成センターに入営・自炊して、災害救助活動などでの訓練を兼ねた「任務」にあたっているものです。

現在使用している同校のグラウンドは、校舎前の約一千平方メートルの「広場」で、思うように運動競技もできない狭さ。今回の整備事業

は児童や先生がたをはじめ、地元住民から強い要望が寄せられていたものです。

新しく造成されるグラウンドは、現在の十倍で一萬三百平方メートルの広さ。直線コース百メートルのトラックや砂場、駐車場、倉庫を兼ねたトイレが整備される予定です。

九月十日までの作業完了をめざし、七トントラック六台、ドーザー二台、バケット二台、ショベル一台などの大型機械が大活躍。照りつける日差しの中、これらを規律よく運転・指揮するカーキ色の作業服姿が、大変なものしく感じます。

この作業が終わると本格的な造成工事が進められ、来春には「思いっきりグラウンドを走り回る、元気な



生徒代表から「よろしく願います」と花束贈呈

子どもたちの姿が見られるだろう」と、学校関係者は新しいグラウンドの完成をまち望んでいます。

なお、町教育委員会では工事期間中の危険防止のため、特に子どもたちの工事区域内への立ち入り禁止と、登下校時での残土運搬作業トラックへの注意を呼びかけています。

「隣の子どもも地域の子」声をかけ合って事故防止にとめましよう。

独眼竜の里

9月29日～30日  
宮城と南三陸の旅

町民号 J/Rパスの参加者募集中!

JR左沢線の利用促進と町民の心のふれあいを深める「朝日町民号」の参加者を募集しています。

新鮮な海の幸と「独眼竜の里」宮城の旅へ、どうぞお誘い合わせの上ご参加ください。

- ☆期日 / 9月29日～30日 1泊2日
- ☆募集人員 / 80名
- ☆会費 / 23,000円
- ☆コース / 仙台～松島～津山～志津川(泊)～気仙沼～唐桑半島～狹鼻溪
- ☆申し込み・問い合わせは、役場企画課へ ☎(07)2111

国鉄の民営化に伴い、鉄道の新線誘致運動は大きく転換せざるを得ない状況から、今後は自らの力で地域開発を推進するとの意志を確認。行政と民間の力を結集して組織の拡大・充実に図る。

②長井線対策協と連携  
第三セクターによる運営を決定した長井線。内陸循環鉄道の命運を決する長井線の対策協議会と連携を強化し、今後の運動を継続する。

③町民号など利用促進運動の展開  
沿線住民に対する啓発と

シンボルトワーの設置、長井線及び左沢線の利用促進運動を推進し、町民号による利用の拡大を図る。——内陸循環鉄道の持つ意義は、県都山形市を中心として、内陸部の五市六町を環状に結ぶことにより、広域的な交通ネットワークを築くことです。

現状では確かに厳しい環境にはありますが、将来に向けて大きな夢とロマンを乗せた内陸循環線。今後継続的に国や県に働きかけながら、地域と一体となった地道な運動を展開することになりました。

町づくりのニュースフェイス

町の職員を募集します!

朝日町の職員を、次の要項により募集します。

●職種及び採用予定人員  
一般行政職 若干名

●受験資格

①年齢要件

昭和四十年四月二日から昭和四十五年四月一日までに生まれたかた。

②住所要件

昭和六十二年七月一日以前から、本人もしくは保護者が朝日町に住所を有し、将来にわたって朝日町の発展に尽力する意志のあるかた。

③学歴要件

高等学校卒業以上、又は来春卒業見込みのかた。

●試験日時・場所

①一次試験 十月四日(日)

(教養試験) 午前一〇時  
\*場所は寒河江市内の会場予定(決定次第、広報紙を通じて周知します)

②二次試験

一次試験合格者について

て作文試験・面接試験を実施します。

●受付期間

八月一日から八月二十日までの二十日間。

●受験手続き

受験申込用紙は、役場総務課及び西部・北部各出張所にあります。受験申込書に所要事項

●採用

最終合格者は、昭和六十三年四月一日から昭和六十四年三月三十一日までの間に、欠員に応じて採用されます。

●問い合わせ先

役場総務課(庶務係)  
☎六七二二一一  
内線二一三〇二一五

町の動物

カモシカくんがあんないします

職員のアイデアによる  
庁舎窓口案内板



役場1階フロアに設置された案内板

町では、職員のユニークなアイデアや仕事上の工夫などを、提案制度を設けながら町づくりに生かしています。

「役場」は、どうしても「お固い所」。このたび職員提案により、親しまれる役場窓口業務へのお手伝いを、町の動物・カモシカくんにお願いました。

りんごとワインの町 朝日町

役場あんない

総合案内	電話案内	視覚障害者用案内	聴覚障害者用案内
車いす用案内	高齢者用案内	外国人用案内	その他



菅井敏夫新会長

# 新会長に菅井敏夫氏

## 観光協会 旅行村の完成に向け 組織の強化拡大を

各種の観光まつりやイベントを通して、町の活性化を図っている朝日町観光協会(会員三百八十三名)。同協会の総会が六月八日、町中央公民館で開催。昭和六十四年オープンの家族旅行村を中心とする観光開発へ向け、組織の見直しや積極的な活動の展開を内容とした新年度の方針を提案、活発な協議が行なわれました。



大久保前会長へ町から感謝状を贈呈

席上、二年の任期が満了となった同協会役員の改選も行なわれ、勇退を希望していた大久保三津雄会長に代わり、副会長の菅井敏夫氏が会長に就任しました。大久保前会長は、特に上郷ダムまつりの開催にあたって、内外の多くの課題を解決しながら継続・発展に尽力されてきたものです。また七月三日、総会後の初の役員会が開かれ、あいさつに立った菅井新会長は「さらに各種イベントの拡大を図り、新会員の勧誘を積極的にすすめて、町民みんなのアイデアを旅行村に結集させたい」と強い決意が述べられました。

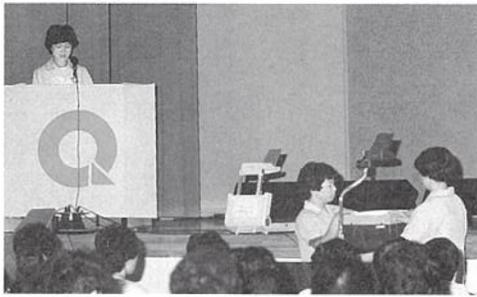
## 工業大学校

### 活発化してきたTQC活動

#### 県を代表する模範発表も

町工業振興協議会(阿部宗一郎会長)が主催する第八回工業大学校が七月八日と九日の両日、農薬団地センターで開かれ、TQC活動をテーマにした熱心な研修が行なわれました。

会場には仕事を終えた、町内各企業からの受講者二百二十名が参集。一日目は町内企業でQCC活動を展開している四サークルの発表



サークル「マーク」の発表風景

会。日頃の仕事や作業の中での改善すべき「ムダ」や生産の向上に結びつくアイデアを一つのテーマに、仕事の合間に研究を続けてきた成果を、調査結果や図式をもとに紹介されました。二日目は、県内のTQC活動の中でも、特に模範的なサークルである山形日本電気(株)高島工場の「くいしんぼう」サークルと長井市のマルコン電子(株)「マーク」サークルの発表。最後に山形日本電気(株)TQCサークル推進本部計画課長を務める大掛講師から、TQCサークルを中心とする小集団活動の進め方についての講義がありました。

みんなでテーマを決め、現状を把握し、対策を練り、効果を調査して、より効果的な仕事をするためにはどうすべきか、というこのTQC活動を、工業界のみならず町内のいろいろな業種にも広げていきたいものです。

## TQCとは? 全社的品質管理

Total Quality Control (トータル クオリティ コントロール)の略で、「全社的品質管理」といわれるものです。会社など組織のトップから一般従業員にいたるまで、それぞれの立場において、担当業務の質を高め改善するための、全員参加の活動をいいます。

特に、製造業における製品の品質向上とコスト(経費)の低減を図るための企業内活動として行なわれているもので、部門・部分的なQCC活動から発展し、現在ではサービス業などでもその手法が多く用いられています。

▼(株)マイニット  
サークル〓みちくさ  
サークル〓生産枚数の平準化  
とコスト低減

▼日東食品(株)大谷工場  
サークル〓私の提案委員会  
サークル〓私の提案

▼同社  
サークル〓管理グループ  
サークル〓私の提案  
サークル〓東北コーオン  
サークル〓ポパイ  
サークル〓ライインの省力化  
(マージンテスト工数削減)

昨年の溪流まつり風景



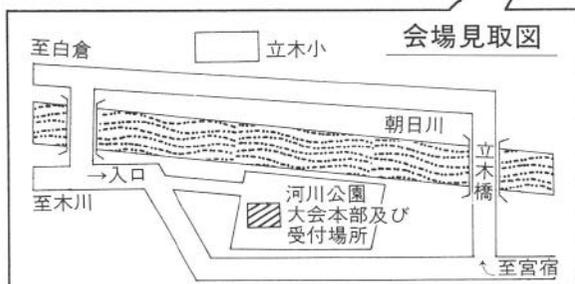
# 爽快! 魚のつかみどり

## 8月2日(日) 朝日川溪流まつり

いっせいでがしやうな。ハッパ  
なびらにやちを  
ボクにくたさい

夏休みの一日を朝日川の清流に遊び、イワナたちと追いかけて遊んでみませんか。ご家族での夏休みに「もってこいの一日」。溪流まつりからの提案です。  
友だち同志、グループでの懇親会にも、思い出の夏を提供します。

- 日時 8月2日(日)午前10時～
- 会場 立木河川公園
- 内容 ①溪流魚のつかみどり大会 (イワナ・ヤマメ・ニジマス・コイ)  
②幼児の金魚つかみどりコーナー  
③焼き魚、飲み物売店あり  
④その他・・・は、来てのお楽しみ
- 入場料 小学生以上 1人500円(幼児は無料)
- 問い合わせ先 朝日町観光協会事務局 (役場企画課商工観光係) ☎67-2111



### 湖水を色どる水中花火と ナイアガラの滝

8月14日

## 上郷ダムまつり

- ☼花火大会 午後7時打上開始
- ☼その他 釣り大会やふるさと物産展など催し多彩

### 名勝 大沼の浮島

土曜祭日  
祭日

### 大沼湖畔の家 ☎68-2350

### オープンします

歴史と信仰の名勝地・大沼の浮島を訪れる、参拝者や観光客の休憩所として建てられた大沼湖畔の家(町施設)その経営受託者が見つからず「休業」状態が続き、来訪者の皆さんに大変ご迷惑をおかけしていましたが、このたび「地元にある施設は地元の力で」ということになり、大沼区の有

志のかたがたで、土曜・日曜・祝祭日、御盆中は連日営業することになりました。営業時間は、午前10時から午後七時まで。宴会など団体での利用も喜んで御相談に応じますとのこと。この夏、お友だちや帰省客へのふるさと案内は、大沼の浮島からコースをはじめよう。



寺小屋風景の絵馬（豊龍神社所蔵）

# 寺小屋物語



## 江戸時代の教科書『往来物』から

今の小学校は明治初年のころ、西洋の教育制度をとりいれて始まりましたが、その先の江戸時代には、寺小屋が初等教育の場所でありました。寺小屋では往来物とよばれる教科書が使われたことが知られています。朝日町にも数冊残っていますが、その冊子には、当時の生活に密着した実業的な内容のものが多く、およそ儒教の教えに基づいて書きつづつてありました。

### 民間で芽ばえた教育

「山高きが故に尊からず、樹あるをもつて尊しとなす。人肥たるが故に尊からず、智あるをもつて尊しとなす」

寺小屋は、庶民の中から自然発生的に芽ばえ、江戸時代の中ごろからめざましく発展したといわれています。

### 商売往来

松程の鈴木作太郎氏方で『商売往来』という本が二種類残されていました。一

子供たちは先ず、かな文字の「いろは」を覚え、こんどは冒頭のような文句をくり返し暗しようし、また何回も書き写しました。江戸時代の人たちの、学問に対する尊重の気風はかなり高いものであったと思われる。

冊は木版刷り、もう一冊は書き本です。書き本のほうには『世帯往来』（一家主人の心得）、『風月往来』（十二カ月の手紙文）も合わせてとじてありました。

商売往来は「およそ商売持ちの扱うは——」に始まり、次に、商人があきなう品の名前などの単語が四百語ぐらい列してあります。おしまいは「遊興をつつしみ、家や着物にむだな金をつかつてはならぬ。店

内をきれいにせよ。客の応待はていねいに。高利をむさぼれば天罰できめん、客足がばったりとだえる。天道を恐れ、精を出して働けば、富は倍増し、子孫繁栄はまちがいない」と結んでありました。寛政八年（一七九六）。

### 学僧の作った手紙文

この庭訓（ていきん）往来は西五百川小学校にあったものです。原作は、十四世紀、室町時代の初期に書かれたといえますから大変古いものです。でも木版刷りのこの本は、年号はわからないが、日本橋通り山城屋佐兵衛蔵とあるから、江戸末期ころに発行されたものかもしれません。

解説によると、作者は出羽の国の人で玄恵法印という学僧。彼は秀才のほまれが高かったので、ある時朝廷に召されて「汝の学業の成果を知りたい」と時の天

皇から申し渡された。すると彼は庭の上に座つたその場で筆紙を借り、即座に十ニカ月の手紙文集をまとめ上げたという。これを目のあたりに見て天皇は大いに賞与し、みずから『庭訓往来』の題名をたまわつたのでした。

往来とは、もともと手紙のやりとり（進状・返状）の意味でしたが、後に転じて教科書すべてを表すようになりしました。

### 大谷の往来

元禄七年（二六九四年）、彦七という人の作つた『大谷往来』を見せてもらいました。書き本で、大きさは四・六版（西洋紙四分の一）に近く、二十二ページの厚さをもっています。保存の状況は悪くて、虫くいはないけれども本の角が上下とも破損して、一・二字読めません。末尾には原文と異なる手跡で「天保十五辰年二月、この主峯壇町・長岡重蔵これを用う」と書いて

ありました。この冊子をひもとかれたのかどうかわかりませんが、大谷往来について、先に「村おこし」という印刷物で、小野健雄氏解説、堀啓太郎氏発行の報告文がありました。

次にこの原本にもとづいて、紙面の都合でその一部だけ紹介することにいたします。

『つらつら、つれづれのまぎれ、村の風景書き続け候はん。そもそも大谷村東西南北は山続き谷深く、その景まことに盛んなり。先づ東に古館あり、清々たる最上川の流れ、前に当たって帆かけ舟の往来をながめ



大谷往来

駒の頭に釣垂る人は、水辺に居て竿の梢を見る。

中略——西に当たりて社あり、大沼と号す。その景勝の地は森々たり。式拾丈の松ケ枝、空吹く風のその音さつさつたり、琴詩を調べるのみ。沼内の浮島は形勢をそろへ水浪に遊ぶ。

中略——その外所々の名物、猿田山のつつじ、南森のかきつばた、右沢のねぜり——中略——桐ケ窪のしめじ、初木山のしいたけ、その時々のは出来は雲のごとく霞に似たり云々

往来物は日本国中共通して流布されたものが多い中で、この大谷往来は、まるで地元の観光案内のようです。およそ三百年前、この大谷の里で独自の視点で作られたという創造性を高く評価したいものです。

寺小屋でこんな往来物が使われたのなら、今は昔、子供たちは喜び勇んで手習いに興じたことでありましょう。また、西五百川に『三中往来』という本があったと聞きました。そ

の本はいつのまにか幼の彼方へと消えてしまいました。

### 書き方が本領

昔の人は、どうしてこんなに美しく上手な字が書けたのでしょうか？江戸時代の人は、だれでもが書道の天才のように思えてなりません。一枚のさりげない古文書に表具をして飾ってごらん下さい。きっと「ずばらしい作品を買われましたね」と言われるでしょう。

私は、寺小屋のことを考えているうちに、はたと思い当たりました。読み書き・そろばんは寺小屋で教えられる科目の種類でしたが、そのうちどれに最も重点がおかれたか、ということとです。答を申しませう。寺小屋の授業の八割ほどの時間が書き方の練習だったのです。五・六年の間、来る日も来る日も習字習字・・・あの御家流の美しい文字の要因が寺小屋にありました。

（教育広報委員長 菅井進）

# 最上川 激流 舞台は激流 主役を演ずるのはどのチーム?

観劇  
マップ

第5回全国イカダ下り大会  
7月26日(日) 午前10時開幕

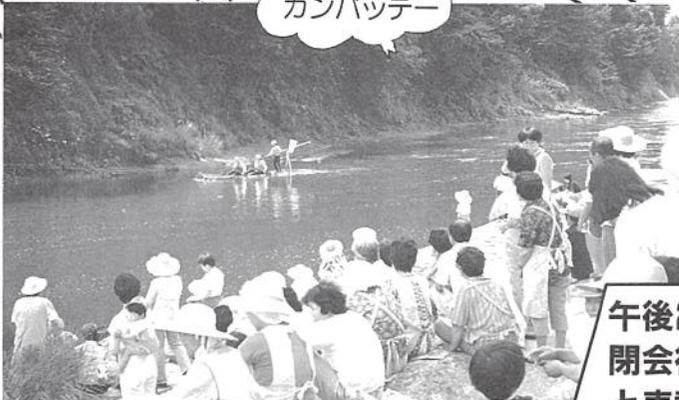
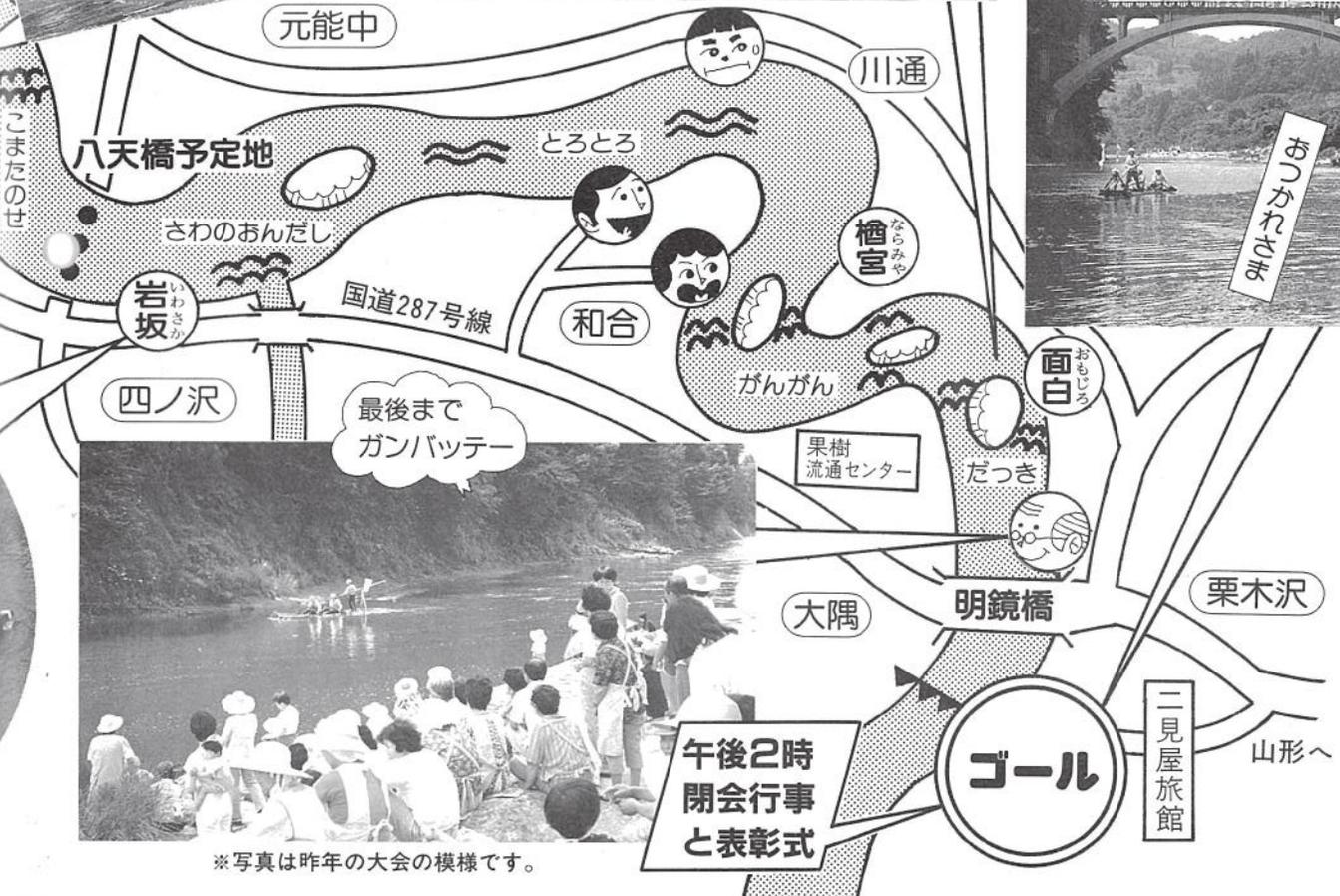
今年の“夏のドラマ”への出場権を手にした、町内外合わせて55チームが、激流 8キロを舞台に繰り広げる感動とロマンの一大スペクタクル。最上川の“母なる愛”を受け、主役を演ずるのはどのチームか。観劇する皆さんの大きな拍手が、より舞台を盛り上げます。全国からの参加チームに、温かい御声援を。

一番の見せ場、昔からの難所“お八天”



いよいよクライマックス

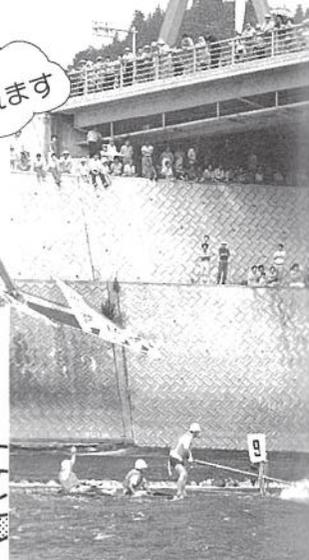
※参加チームなど詳しくは別に配布するチラシをご覧ください。



※写真は昨年の大会の様です。

コースを見定めて

真上からの  
勇姿が見えます



上郷ダム

雪谷

スタート  
10時

西船渡

午前9時  
開会行事  
安全祈願祭

五百川橋

ほっけの  
がんがん

助ノ巻

注大会主催者側で  
波の流れを表現した  
ものです。

長井へ

清水  
工業団地

清水

やんちやのせ

ことぶち

八天  
はつてん



役場 中央  
公民館

宮宿

西原

緑が丘  
公園

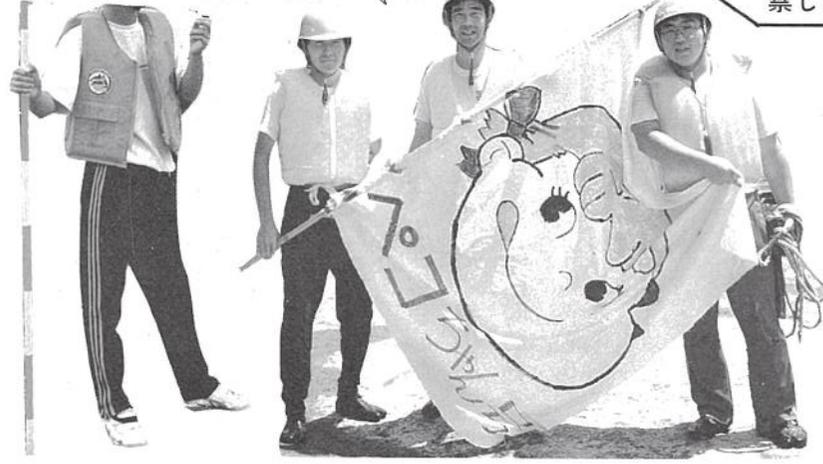
25日 午前6時  
大会説明会  
と前夜祭  
ここから勝負は  
スタート

農業  
団地  
センター

朝日中

チーム名をアピールする  
のほり旗も、また楽しい

交通安全のため  
道路上、橋の上への  
駐車をかたく  
禁じます。



ゆるやかな流れに  
変わる、ここで休むか、  
それともここか



## 町づくりは青年の手で 福島県

### 青年議會を学ぶ 山都町青年5人が来朝

やまとまち

六月二十七日、福島県山都町から青年五人が当町を訪れ、一泊二日の日程で町連合青年団との情報交換や交流、二日目の日曜日は大沼の浮島や家族旅行村造成地を見学。地域に根ざした活動をテーマに、隣県同士の交流を深めました。

山都町は山形県と隣接し、飯豊連峰福島側の登山口に位置する町。人口は半分の約五千人だが、地勢や町づくりなど当町とよく似ている。ただし、町を横切る鉄道の道標が誇らしい。

山都町では青年会組織が一つで、会員は約五十人。最近、新町長の誕生もあって、青年層との座談会を新たに青年会が企画することになり、特徴的な朝日町青年議會の取り組みを学ぶことが、今回の研修のねらい。夕方に着した一行は、宿舎の中央公民館で加藤正彦



青年のかかえる課題は同じ。ビデオを使って情報交換

団長をはじめ、町連合青年団の役員ら男女十四名と対面。自己紹介の後、それぞれ準備した資料をもとにお互いの活動を紹介。さらに町連合青年団では会場にテレビを持ち込み、単位団への訪問事業や青年議會などの模様を記録したビデオでの紹介も加え、質問や情報交換が一層活発化。

二部の交流会では、女子団員の確保、あの手この手、などの話題に花が咲き、手に持つグラスの朝日町ワインも、やや不足さきみでした。



元気印の

町育成委員研修会

3ヶ月



父の日の六月二十一日(日)、町子ども育成委員研修会が中央公民館で開かれました。育成委員は総勢百四十五名、各区や小学校を単位とした野外自然教室地区や町全体でのスポーツ大会など、それぞれの子ども会活動をバックアップ。未来を担う子どもたちのすこやかな成長に、大きな役割を果たしています。

この日は、夏休みを目前にしての野外活動の方法をテーマとした研修会。まず、キャンプでのテントの張り方やほんごう炊飯などについて、朝日少年自然の家(左沢)で研修を担当している長岡信悦係長(常盤)の講話。

①計画の段階から子どもたちを参加させ、しっかりとした計画を立てる。②リーダーを中心に、できる限り子ども



テント設営の基本を学ぶ育成委員のみなさん

たちにまかせる。③テント設営は安全な場所に、子どもたちの手で。④自然観察など、大自然に学ぶ野外活動を。⑤はんごう飲飯のコツは、まずははんごうの中にアルミはくをしいてから——など、具体的にわかりやすい話の後、公民館裏の子どもの広場に移動しての実技講習。町の青少年育成推進員も交えて、テント設営のイロハを学びました。研修後半は、万一の事故に備えての人口呼吸と応急

比国からの  
花嫁さん

エバさん W も参加

### 朝日連峰夏山開き

あいにくの雨模様となった6月21日、朝日連峰夏山開きの行事が、鳥原の朝日嶽神社前で行なわれ、2市4町（寒河江、長井、西川、大江、白鷹各市町と当町）から参加した山岳会などの関係者約100人が、登山者の安全を祈願。地元山岳会のメンバー松程の鈴木弘己さんと新妻のエバさん（フィリピン出身）も、町の参加者12人と前日から登頂し、当日の朝、鳥原の湿地帯や登山道周辺をビニール袋を片手に清掃作業。心なく捨てられた空きカンなど約100キロのゴミを回収し、自然保護と登山愛好者のマナーを呼びかけました。



小雨の中、清掃作業に励む参加者たち

## 今日の顔

ライトの点灯、点滅を8年間  
ナイター野球の“影の人”



前田 沢 渡辺 一雄さん

(53歳)

雪国の短い夏を彩るカクテル光線の下、ナイター野球は今が真盛り。この「裏方さん」として朝日中グラウンドナイター施設の、ライトの点灯・点滅の役目を八年間務めている人が渡辺さん。いわば「影の人」。

根っからの野球好きで、「毎晩見に行っていたら頼まれたが、朝に雨が降った日などグラウンド状況が悪い時には、野球連盟からの連絡を待ったため奥さんも電話から離れられない。家族の

協力なしではとても長い期間引き受けられない仕事。

「若者が安心して試合を楽しめるように、応援をしながら毎晩グラウンドに行くのが楽しみ。野球を通して若い選手らが、社会人として大きく成長するのを見守っていききたい」と、スポーツでの人づくりを強調。

「会社（大東建設株式会社）の定年まではあと七年、定年後も自分の健康づくりと社会への奉仕のつもりで頑張りたい」。野球愛好者にとっては、何よりもかえがたい「助っ人」だ。

（広報副委員長 堀 重雄）

## 高齢化問題は婦人の共通課題

### 身近な活動から 福祉の輪を

#### 婦人若妻リーダー研修会



熱心な話し合いが行なわれた

はじめに、同会が老人家庭とねたきりのお年寄りのいる家庭を対象に行ったアンケート調査結果が報告され、その後それをもとに三会場に分かれての話し合い。各分散会では、介護にあたって多くの悩みを抱える会員仲間の気持ちをわかち合い、高齢化問題を会員共通の課題として、身近な活動から取り組んでいこうと、熱心な話し合いが行なわれました。

手当の指導。消防朝日分署の救急隊員による止血の方法や心臓マッサージの仕方など「プロの手口」を披露しながら、映画を交えての研修に参加者たちの表

情も真剣そのもの。「事故なく無理なく安全に」をモットーに、思い出に残る夏休みの活動を見守ってほしい」と語っていました。



# ズースー弁もサービスのうち

## 私と東北弁

清野 光 良 さん

《東京都小平市小川町二丁目2036》



### ★プロフィール

- 昭和27年、四ノ沢生まれ
- 昭和45年、警視庁巡查奉命、以後警視庁本部、機動隊等を経験し、現在、警視庁調布警察署外勤課警部補
- 趣味 溪流釣り
- 特技 スースー弁

数年前のことである。私  
が交番で勤務をしていると  
必ずといっていいほど「学  
校連絡」？をするため立ち  
寄っていく小学生の男の子  
がいた。言葉使いや話の内  
容から、相当のヤンチャ坊  
主であった。

その男の子が、ある日突  
然「おまわりさんは先生と  
同じ話し方だ！」と大声で  
言った。最初は何んのこと  
かと思ったが、「なまり」で  
あることを直感した。「先生  
はこの生まれ？」とその  
子に聞くと、「山形県」とい  
う答えが返ってきた。

「ほっ」とする言葉だ。  
そこで、その先生のこと  
をいろいろ聞いて見た。子  
どもたちの間では「話のわ  
かる」先生で、人気がある  
という。よく授業の合間に  
東北弁でいろんな話をして

※この「ふるさとへの便  
り」欄は、町外に在住の  
町出身のかたとふるさと  
を結ぶコーナーです。  
皆さんの友人・知人の  
ご紹介と、お便りをお待  
ちしています。

くれるのが、子どもたちに  
は楽しいらしい。生徒たち  
とのコミュニケーションの  
手段として、東北弁を取り  
入れているその先生独自の  
持ち味に共感した。

こんなことがあって以来、  
酒の席はもちろん仕事でも  
時折、また帰省し山形駅に  
降りた時からは「朝日人」  
になってズースー弁を連発  
している次第。要は言葉使  
いや振舞いにおいて、形だ  
けでなく素直に自分自身を  
表現することが、単純に「生  
きがい」と思える。

また、自分の職業は業種  
的に見ればサービス業の分  
野。それは人を相手にして  
いるという点である。かと  
言って、私は雄弁家ではな  
い。やや口べたであるもの  
の、行動力でカバーしなが  
ら楽しく部内や外の人と接

## 自分の目で「検証」旅行村計画

### 町区長会・西部 婦人会が現地視察

白倉地区に建設中の家族  
旅行村は、町の「ムラおこ  
し」の大きな目玉。町の将  
来の命運をかけた事業と言  
えるものです。

西部婦人会の役員会では、  
地元でありながら整備され  
る所がどんな所か知らない  
ようでは、ほかの人にPR  
もできない。実際に自分の  
目で確かめてみようという  
ことになり、六月二十  
三日に建設現場を視察。

旅行村対策室の白井室  
長の案内で、施設の具  
体的な立地場所や造成  
中のスキー場ゲレンデ  
を約一時間かけて見て  
まわりました。同婦人  
会ではさらに八月、支  
部長研修として八幡町  
の鳥海家族旅行村も視  
察する計画です。

また、町区長会でも  
六月二十九日、バス二  
台に分乗し、主要地方

道・山形朝日線の、現道か  
ら見えない工事現場を視察  
した後、家族旅行村にも足  
を運びました。

あいにくの小雨模様の中  
を、傘をさしながら見てま  
わった参加者は、施設の規  
模に改めておどろき、自然  
と調和した施設を旅行村の  
目玉にしようと、語り合っ  
ていました。



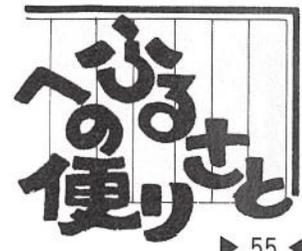
熱心に旅行村計画を聞く区長さん

# いま朝日校で

いま朝日分校野球部十一人の若き球児たちは、夏の全国高校野球県大会をめざし、連日陽の落ちるまで校舎下のグラウンドで猛練習。今年、特に三年生の部員がいないにもかかわらず、二年生を中心に一年生部員をまとめ、心を一つにして今大会への出場をめざした。

## めざせ！「朝日の野球」

### 3年生欠場の11人の球児たち



している。そんな中で「東北人らしさ」をいかになく発揮することが、県外にいる私達の誇りと使命だと信じ、今日も仕事で「ンダー」「ワガンネー」。

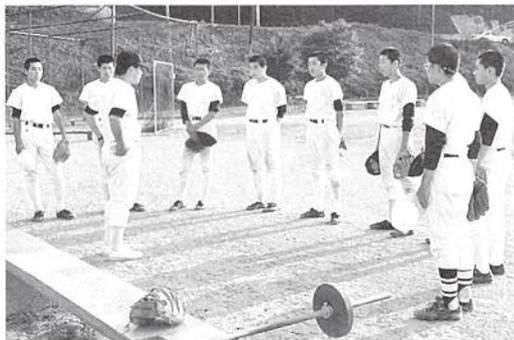
気持ちの一端をあれこれ書いたが、手前味噌かと考

えたり、正直言つて戸惑つている。これも「東北人らしさ」か。ともあれ、日々発展の一路をまい進のわがふるさと朝日町。益々の発展と町民皆様の御健康を、東京の街かどから祈念いたします。

もの。同校野球部OBの清野文一監督（四ノ沢）の指導のもと、練習量不足をチームワークで補い、今月二十日、酒田市営球場で行なわれる松山里仁館高校との初戦には、悔いのない「思いっきり」の試合をしよう、練習にみなぎる汗を流していきます。

#### ▼野球部

- 部長 阿部 和久教諭
- 部員 渡辺 勝志（二年・能中・主将）
- 阿部 俊幸（同・立木）
- 小松 仁（同・今平）
- 鈴木 伸司（同・太郎二）
- 鈴木 研也（同・西町）



長い影が消えるまで練習が続く

- 布施 哲也（同・松程）
- 渡辺 守（一年・古楨）
- 遠藤 浩（同・栗木沢）
- 武田 陽一（同・西町）
- 長岡 達郎（同・元町）
- 鈴木 祥宏（同・大隅）
- 町民皆さんの、温かい御声援をお願いします。

## 皆さんの簡易保険積立金は町の施設に生かされています

皆さんが加入している郵便局の簡易保険の積立金は、学校、道路、公園などの公共施設の整備資金として、公共団体等に還元融資され、地域社会の発展と住民福祉の向上に役立っています。

当町でも、昭和61年度に次の施設、道路などの整備資金に融資を受けています。

(事業名)	(融資額)
過疎対策事業	千円
・玉ノ井コミュニティセンター建設事業	3,100
・除雪機械購入事業	4,100
・防火水槽整備事業	4,900

・消防自動車・小型動力ポンプ整備事業	4,900
・柏原地区団体営農道整備事業	2,000
・林道白倉線舗装事業	4,100
・農村総合整備事業（松程線舗装工事）	1,200
・ // （旧三中線改良工事）	10,600
・ // （下道線 // ）	6,000
・ // （夏草線 // ）	12,500
・ // （二百刈線 // ）	1,800
・都市街路前田沢・西町線整備事業	4,700
・町道赤釜線改良事業	17,100
・ // // 舗装事業	3,800
・ // 雪谷線 //	5,300
・ // 下夕宿線 //	5,200
・ // 浦小路線 //	4,900
<b>一般単独事業</b>	
・緑ヶ丘公園整備事業	14,200



**ロータリークラブ杯争奪  
ゲートボール大会**  
朝日町ロータリークラブ  
(永井一省会長)の地域福  
祉活動の一環として、昨年  
から設けられたロータリー  
クラブ杯争奪ゲートボール  
大会。初夏の日差しが照り  
つける六月十日、町ゲート  
ボール愛好会(大井 武会  
長)加盟の二十二チームが  
参加して、緑か丘公園グラ

## 舟渡

チーム  
が初優勝



仲間へ声援をおくる

## 西村山豊大会でも“朝日勢”活躍

最優秀選手賞に志藤麻美さん(宮小)

“剣道の朝日”4種目を制覇(朝日中)

### 〔小学校陸上競技大会〕

- 期日 6月7日(日)
- 会場 大江町体育センター
- 成績▽男子100m ④鈴木 和志(大谷小) 14秒4
- 70mハードル ④長岡 清彦(西小) 11秒6
- 400mリレー ④西小(佐竹 秀文・朽木 英之・海野 毅・長岡 清彦) 59秒8
- 1,000mA組 ③熊谷 忍(和合小) 3分22秒9
- 同 B組 ③柴田 明(宮宿小) 3分16秒9
- 同 B組 ④佐藤 努(大谷小) 3分19秒8
- 同 C組 ⑥佐竹 裕樹(西小) 3分25秒0
- 走 高 ④阿部 高典(西小) 1m23
- ▽女子70mハードル ②遠藤 厚子(大谷小) 12秒2
- 400mリレー ③宮宿小(成原 睦・志藤 麻美・多田佐代利・鈴木 志保) 59秒6
- 800mA組 ④佐久間知子(大谷小) 2分47秒6
- 同 B組 ③小野知奈津(西小) 2分45秒2

- 同 C組 ①志藤 麻美(宮宿小) 2分39秒1
- 走 幅 ②鈴木 志保(宮宿小) 4m08
- 同 ④原 奈美(大谷小) 3m79
- 走 高 ①武田めぐみ(大谷小) 1m28
- ※最優秀選手賞 志藤 麻美(宮宿小)

### 〔中学校総合体育大会〕

- 期日 6月13日(土)・14日(日)
- 会場 寒河江市・西川町・河北町
- 朝日中の成績(団体戦)▽1位 男子剣道・女子ソフト・女子バスケ・女子剣道 各種目
- ▽2位 男子軟式庭球
- ▽3位 男子バスケ・男子卓球
- (個人戦)▽女子剣道 ①遠藤めぐみ
- ③志藤 裕美 ③白田 美加
- ▽男子剣道 ②高取 綾平 ③鈴木 征司
- ▽男子軟式庭球W ③鈴木 幸喜・小林典昭組

参加十チームによる町野球連盟(堀重雄会長)主催の春季野球大会が、五月二十四日と六月十四日の二日間、緑が丘公園グラウンドで開催。決勝戦は予想どおりトーナメント戦を勝ち進

## アタックス(チーム)が三連勝

### 春季野球大会

んだ菅井泰美監督(小原)のひきいるアタックスと強豪ジャンボリー両雄の対決。六対二でアタックスチームにVサインが上がり、三年連続の優勝を果たしました。



力投を続ける栄町・大場投手

に汗を満たしました。た栄町・大場投手の力投が、昨年優勝の四ノ沢ナインを制し、六対三で町長杯優勝カップ

町ソフトボール協会(浅岡清二会長)主催の、各年

## 栄町(チーム)が初優勝

### 力投/大場 実投手

代混成による、区対抗早朝ソフトボール大会の決勝戦が六月十五日、緑が丘公園グラウンドで開催。

昨年より五チーム減少しましたが十六チームの参加した今大会は、決勝戦において栄町と四ノ沢チームの白熱した試合展開となりました。足の痛みをこらえながらも気迫で続投した栄町・大場投手の力投が、昨年優勝の四ノ沢ナインを制し、六対三で町長杯優勝カップ

早朝ソフト



とてもが



選手参加まつを番出

ウンドで開かれました。  
 今年の初の大会とあって、  
 地元の「ホームコート」で  
 朝昼となく練習に励んでき  
 た選手らの、ボールを打つ  
 音もいつもとなく高らか。  
 この春、東京連絡事務所の  
 事務室を提供いただいでい  
 る友井商事(株)より寄贈さ  
 れた、リングとワインの絵  
 柄の目新しいゼッケンを胸  
 に、番号のついた赤と白の  
 ボールを追っていました。  
 成績は次のとおりです。  
 ▽優勝 舟渡▽準優勝 西町  
 ▽第三位 八ツ沼・栄町

# 古道を たずねて

37

文月の空くまなく晴れて  
 緑風薫る五百川路  
 最上の川の舟唄は  
 田の面豊かに流れるく  
 小鵜飼舟に帆をあげりや  
 帆は帆まかせ  
 帆は風まかせ  
 今宵はあなたの腕まかせ  
 山背風だよ  
 あきらめしやんせ  
 おれを恨むな風うらめ

最上川舟唄が全国に紹介  
 されたのは、昭和二十七年  
 十月である。日本民謡協会



筆者と柴田さん

## 水の古道 最上川④ 母なる川 最上川の舟運

東北大会の折、全国に放映  
 された。作詞は渡辺国俊、  
 作曲は後藤岩太郎である。  
 風流な岡氏は左沢の百目木  
 に小舟を浮かべ、一杯呑み  
 ながらこの名作を生んだと  
 いう。まさにボルガの舟唄  
 と肩を並べる「舟唄の名作」  
 と言われている。  
 筆者は去る四月下旬、山  
 形市の柴田謙吾氏(粟木沢  
 出身75歳)を訪れた。四百  
 坪に余る屋敷の一角に、昨

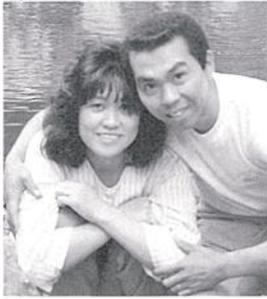
年製作の小鵜飼舟の本物が  
 どんとすわっていた。これ  
 には筆者もおどろい  
 た。  
 柴田氏は静かに語  
 る。  
 「これが小鵜飼舟で  
 す。材料は最上郡の  
 山奥から切り出した  
 ものです。長さ二〇  
 尺、幅二尺、深さ約  
 一尺です。前部の小

室の中には、いろりを始め、  
 なべ、かま、衣類などそろ  
 えてあります。大工は、大  
 石田の専門の舟大工を使  
 いました。材料はすべて杉材  
 で、厚さ一寸五分板です」と。  
 氏の顔は満足感と希望に  
 輝いていた。今後の抱負は  
 「庭の一隅に置いてはもつ  
 たいないので、できること  
 なら最上川記念館をつくら  
 せて永久に保存したい。県に  
 も目下交渉していますよ」  
 この舟の建造費は？  
 「ハハハ、ゆうに百万円  
 以上かかっていますよ」。  
 下し舟の主な荷は、米沢  
 藩の米と青芋であった。五  
 百郷からも江戸、明治時代  
 は青芋を多く積み出した。  
 米沢には舟役所が設けられ  
 左沢には「米沢藩左沢屋敷  
 陣屋」が設けられていた。  
 途中、糖の目、長井市宮、  
 白鷹町萱蒲にも舟の御藩所  
 が設けられていた。  
 今から二一〇年前の安永  
 六年、一石檜村(常盤)大  
 庄屋・佐竹長右エ門に命じ  
 た米沢藩川舟役の文書に  
 「最上五百川通り 御通船



昨年完成した小鵜飼舟

川舟役」の記録が残ってい  
 る。佐竹長右エ門は川舟役  
 として、明治初期まで活躍  
 した。(広報委員 長岡幸助)



# ほやほや 新婚さん

栗木 沢 五十嵐 修 一さん  
明 美さん

やり投げの国体選手だった修一さん。見事に明美さんのハートに射止めて、この春、仲良くゴールイン。昨年は県青年大会の相撲競技にも出場、優勝し全国大会へ。スポーツ万能、釣り・カメラなど多趣味多才な青年。「冬の寒さの厳しい時、お風呂に入ると『ほっ』とするような温かい家庭をつくりたい」と幼い頃から変わらないかわいい笑顔で語ってくれた明美さん。二人の夢は、子供とお弁当を持って、ピクニックをかね家族みんなで釣りに出かけること。二人でいると、なかなか絵になる。おしゃれな新婚さんです。

(広報委員 遠藤喜由)



62年6月1日～6月30日届出

## \*あじあわせに\*

(婚姻届)  
大谷 四 大江町  
長岡 浩利 佐竹加代美  
八ツ沼 大町  
小松 恵治 伊藤 明美

## \*すくすくかた\*

(出生届)  
区 名 出生者氏名 父 名  
中 沢 五十嵐若菜 藤 司  
大 隅 渡邊 洋平 一 司  
大谷 一 菊地 美加 洋 一  
大 隅 白田 拓也 昭 治

## \*やすらかに\*

(死亡届)  
区 名 死亡者氏名 世帯主  
松 程 佐竹 清美 悦 美  
松 程 鈴木 三助 俊 蔵  
大谷 四 佐藤 敏夫 伸 寛  
松 程 佐藤 末松 文 作  
大 隅 鈴木サカエ 實  
栄 町 菊地ヨシエ 藤 平

## \*人口と世帯数\*

(6月30日現在)  
▽人口 一〇、九八一人(△七男 五、四五七人(△四女 五、五二四人(△三二)▽世帯 二、六二四世帯(三)



## チャリティ茶会より

大町の鈴木綾子(宗綾)さんより、「気軽にお茶の楽しさ」と開いた茶会でのチャリティ金三万一千六百四十二円と、ご本人から五万円、合わせて八万一千六百四十二円を町社会福祉協議会へ御寄付いただきました。



川から引きあげられる事故車

7/21~8/20  
"明るいやまがた"  
夏の安全県民運動

スローガン  
●安全は ひとりひとりの心げけ  
●育てよう 思いやり 感謝の心の青少年  
●みんなで防ごう 水の事故

## 最上川に 7/7 車転落、水死

松程・大舟木間の道幅の狭い県道から、通行中の乗用車が誤って道路そばの最上川へ転落。運転していた天童市の五十九歳の男性が尊い命を落しました。町内での交通死亡事故ゼロ日は「六四六日」でストップ。これからは夏本番。暑さによるドライバーの気のゆるみや宴会での酒席の多くなる時期、悲しい夏にならないよう一人ひとりが交通安全に心がけましょう。

## せせらぎ

▼先の国会で、民間のリゾート(行楽地)基地建设を国(国土庁はじめ六省庁が共管)や自治体が援助しようという「総合保養地域整備法」がつけられ「内閣拡大・余暇の増大」の時代の波に乗ってリゾート基地建设構想が日本列島各地から沸き出ている。▼わが町も建設構想ラッシュに遅れをとるまいと、六十四年オープンをめざした白倉の旅行村開発に、本格的に乗り出した。「課題は道路網の整備」だとマスコミは指摘するが、それ以上に心配されることは全国でリゾートづくりがはじまり、各地で観光客の奪い合いとなり共倒れしかねない状況にあることだ。▼このほど開かれた町の観光協会総会において、新会長に菅井敏夫氏を選出。今年度事業の最大テーマとして「組織の強化・拡大」を取り上げ、一万人町民すべてが「旅行村セールスマン」になっていただくための、新規会員勧誘運動を展開することになった。まさに時宜を得た施策。▼道路網整備や「共倒れ」の心配もないではないが、まず、一口千円、みんな出し合って会員となり、旅行村への誘客宣伝、観光特産品の開発作戦に、町民挙げて参画しよう! (ほり)